



# 1月 園だより

令和5年1月4日  
第三ひもんや保育園園長

あけましておめでとうございます。

今年も残すところあと3か月となりました。保護者の皆様のお力添えのお陰で、無事に新年を迎えられましたこと、心より感謝いたします。少しずつ大きくなっていく子どもたちの姿を、1日1日大切に見守っていきたいと思います。

年末年始のお休みで見ない間に、子どもたちが不思議とたくましくなったような気がします。子どもたちも就学、進級をそれとなく意識しているように感じます。昨年5歳児クラスは、児童館学童の先生に来ていただき出張工作を行いました。また私立保育園を招き、ドッチボール大会も行い就学に向けての準備に取り組んでいます。ドッチボール大会では、まず互いのクラス名を伝え合い「よろしくお願いします」と挨拶を交わしました。初めて出会う友達を見て「うわぁ、なんだか強そうだな」「なんかどきどきするけど、負けないよ」と緊張しながらもわくわくしている気持ちが伝わってきました。1、2回戦は保育園ごとに対戦し3回戦目は、混合チームで対戦することにしました。混合チームでジャンパーを決める際、互いに自分の名前を伝え合う姿や、いつも行っている鬼決めやり方を私立園の友達が不思議そうに見ていると「私たちは、いつもこれで決めているんだよ」「面白いでしょ」と声を掛け「面白いね」と笑い合う姿が見られました。子どもたちの順応性の高さに驚くと共に子どもたちは、遊びを通して自然に環境に慣れ、人と関わっていく力が育っていると感じます。今月末には小学校1年生との交流も計画しています。子どもたち一人ひとりが環境の変化に適応し、学校生活においても安定した生活が進められるよう小学校との連携を図っていきたいと思います。

また1月、2月と懇談会を計画しています。ご家庭での様子を伺いながら、子どもたちの成長を共に喜び合いたいと思います。お忙しいことと思いますが、是非ご参加頂けますようよろしくお願いいたします。

## 1月の予定

新年お祝い会（全園児）  
懇談会（5歳児クラス）  
懇談会（3歳児クラス）  
懇談会（2歳児クラス）  
身体計測 …中旬（全園児）  
避難訓練 …中旬（全園児）

## 2月の予定

節分集会  
街ごっこ  
懇談会（0歳児クラス）  
懇談会（1歳児クラス）  
懇談会（4歳児クラス）



## 米作りの様子をお知らせします



年長になってすぐに、かぶとむし組の皆でお米屋さんへ稲をもらいに行きました。保育園で一番大きくなったという誇りを胸にお米作りが始まりました。田植えをして、夏の暑い間も水を絶やさずに大事に育てていった稲が、秋にはしっかりと育ち稲刈りの時を迎えました。先日、子どもたちと共に育てきたお米を脱穀しました。保育園では、かごを使って脱穀をします。かごの網目状の穴に稲を通して引っ張ると米粒だけが外れます。担任が子どもたちの前でやってみせると、はずれた米粒が弾け飛びました。この方法だとせっかく収穫したお米がほとんど飛び散ってなくなってしまいます。さてどうしようとみんなで考えると、かごの下の方の穴に入れることやそっと抜くこと、そして空いた手をふたのようにすることを思いつきました。みんなで声を掛け合いながら丁寧に脱穀していきます。とんぼ組の子どもたちも参加してペアで脱穀を行いました。優しく教える5歳児と一生懸命取り組む4歳児の姿があり、こうして次の世代に引き継ぎながらおいしいお米を作っていきます。粳摺りや精米を行ってみんなで食べたおにぎりの味は特別なものになりました。残った藁を使ってしめ縄作りも経験しました。きっと素敵な年を迎えられたことと思います。





## 運動遊びの様子 ～乳児クラス～



### ありんこ組（0歳児クラス）

「高いい」

プレイルームで、段差の登り降りなどをして身体を動かす遊びをたくさんしています。少し高い段差があると、手を付いて足を高く上げて登っています。上に登るとゆっくり立ち上がり、高い所から周りを見渡しています。保育士も一緒に段差に登り「高いね」というと「高いね、高いい」とその子も嬉しそうに言っています。その様子を見ていた他の子も段差に登りに来て「たかーい」と両手を上げ楽しそうな笑顔で言っていました。這い這いの子は、立て膝になり一生懸命上に手を伸ばし「高いい」と言っています。降りる時はバランスを取りながらゆっくりしゃがみ、後ろ向きになって上手に降りています。そしてまた段差に登りに来て、今度は隣に登ってきた友達と視線を合わせて「高いねー」と笑い合っていました。楽しく体を動かしながら体の使い方がわかり、バランス感覚も育っています。これからも保育士や友達と一緒に体を動かす楽しさをたくさん味わいながら遊んでいきたいと思います。

### ちょうちょ組（1歳児クラス）



「見て見て、できたよ」

斜面を付けた肋木を設定すると「滑り台だー」と喜んで駆け寄っています。高くよじ登ってみたり、はしごを跨いで内側に入ってみたり、斜面を高這いで登って腹這いになって滑り台を下りたりと、色々な遊び方を楽しんでいます。友達と同じ遊びを一緒に楽しみたいという気持ちも増してきて、遊んでいる姿を見て同じように少し高く登ってみたり、両手でぶら下がってみたりしながら内側に入る等、挑戦する姿もあります。繰り返し同じ設定で遊びを楽しむことで、高さや遊具に慣れてきて、体の使い方や支え方がわかるようになってきました。出来るようになったことが嬉しくて「あー」と声を出して保育士を呼んだり「出来たよ」「先生見てね」と言って喜んだりして、出来て嬉しい気持ちや楽しさを保育士や友達と共感し繰り返し披露しています。「やってみたい」という意欲を大切にしながら、一緒に体を動かす遊びを楽しんでいきたいと思います。



### てんとうむし組（2歳児クラス）



「魔法のじゅうたんに乗って」

ホールでのリズム遊びの後、体を触れ合いながら楽しむ「じゃれつき遊び」を始めています。その中の1つ魔法のじゅうたんは、子どもたちに大人気の遊びです。「魔法のじゅうたんをやります」と保育士が大きな布を持って立つと「魔法」「魔法」と口々に言って傍に集まってきます。すぐ傍に来た子の名前を呼び大きな布を広げ「どうぞ」と真ん中に座るように手招きすると嬉しそうに布に座ります。「魔法のじゅうたん、出発」と保育士二人で布を持ちホールを往復すると、満面の笑みです。周りの子どもたちも次は自分の番と近くに集まってきます。「順番にお名前呼ぶからね」と声を掛けると「順番、順番」と言いながら「次は〇〇」「その次は〇〇」「じゃあ〇〇の次は〇〇」と子どもたちで順番を言いながら楽しみに待つ姿も見られます。魔法のじゅうたんの他に、子どもたちの好きな「ワニワニの絵本」から名前をつけたワニワニ歩きや大きな布のトンネルくぐりなどがあります。これからもじゃれつき遊びで大人も子どもも一緒に肌をふれあいながら気持ちを発散することで心や体を開放して体を動かすことを楽しんでいきたいと思います。